

琵琶湖の総合保全についてのアンケート結果

県では、1999年に琵琶湖総合保全整備計画（マザーレイク 21 計画）を策定し、1999年度から 2010 年度までを第 1 期、2011 年度から 2020 年度までを第 2 期として、計画に基づき琵琶湖の総合保全に取り組んできました。

今回、この 10 年ないしは 20 年の間に、琵琶湖の状況がどのように変化してきたのか、また、県民の皆さんと琵琶湖との関わりがどのように変わってきたのか等についてお聞きし、今後の取組の参考にしていくことを目的としてアンケートを実施しました。

★調査時期：令和元年 5 月

★対象者：県政モニター 399 人

★回答数：359 人（回収率 90.0%）

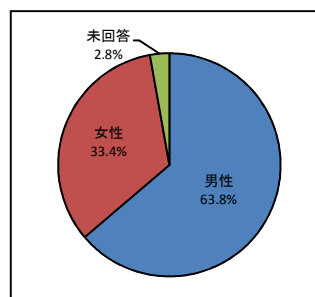
★担当課：琵琶湖保全再生課

（※四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。）

【属性】

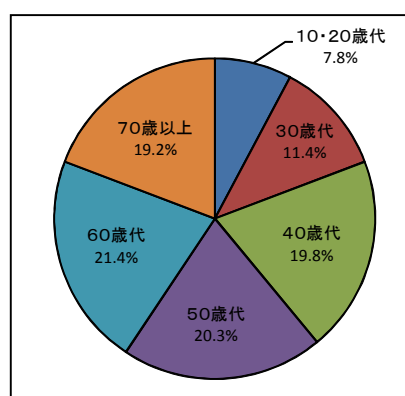
◆性別

項目	人数（人）	割合（%）
男性	229	63.8%
女性	120	33.4%
未回答	10	2.8%
合計	359	100%



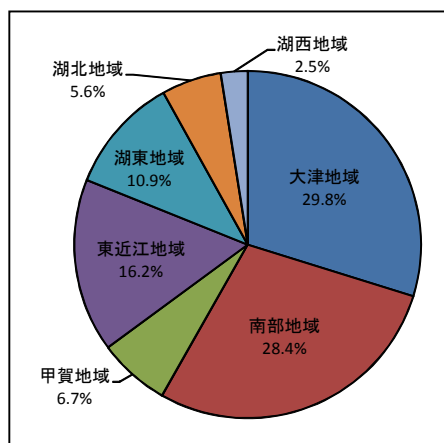
◆年代

項目	人数（人）	割合（%）
10・20歳代	28	7.8%
30歳代	41	11.4%
40歳代	71	19.8%
50歳代	73	20.3%
60歳代	77	21.4%
70歳以上	69	19.2%
合計	359	100.0%



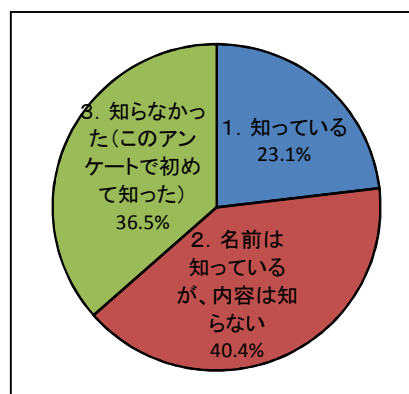
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	107	29.8%
南部地域	102	28.4%
甲賀地域	24	6.7%
東近江地域	58	16.2%
湖東地域	39	10.9%
湖北地域	20	5.6%
湖西地域	9	2.5%
合計	359	100.0%



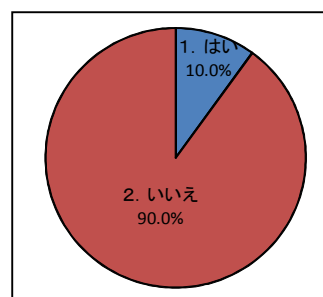
問1 あなたは、琵琶湖に関する県の計画「琵琶湖総合保全整備計画（マザーレイク21計画）」を知っていましたか。（回答チェックは1つだけ。 n=359）

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	83	23.1%
2. 名前は知っているが、内容は知らない	145	40.4%
3. 知らなかった（このアンケートで初めて知った）	131	36.5%
合計	359	100.0%



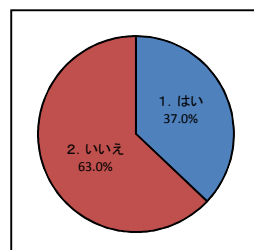
問2 琵琶湖や地域の環境を保全していくため、NPO等の環境保全団体に所属していますか。（回答チェックは1つだけ n=359）

項目	人数(人)	割合(%)
1. はい	36	10.0%
2. いいえ	323	90.0%
合計	359	100.0%



問3 過去1年間に環境保全活動（ゴミ拾い、ヨシ刈り、川の草刈り等）や環境学習（セミナー、学習会、観察会等）に参加したことがありますか。（回答チェックは1つだけ n=359）

項目	人数（人）	割合（%）
1. はい	133	37.0%
2. いいえ	226	63.0%
合計	359	100.0%

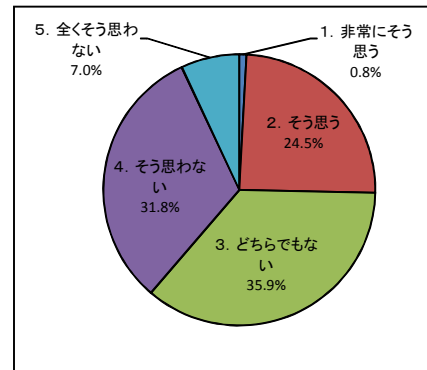


「問3」で「はい」を選んだ方にお尋ねします。どのような活動に参加しましたか。（抜粋）

- ・ゴミ拾い、草刈り、セタシジミ復活調査協力、水質・生き物調査、環境学習会協力、ヨシ刈り、セミナーなど。
- ・びわ湖の日を中心に自治会で取り組んでいる河川愛護の一斉清掃。
- ・レイカディア大学びわ湖環境学科に入学したことにより、各種のセミナー、講演会に参加しました。また、地元草津川およびオランダ堰堤周辺の清掃、草刈等のボランティア活動に参加しました。
- ・夏秋の住宅地域の清掃活動 県やNPO団体主催のセミナー。
- ・河川堰堤の草刈り。居住地の可燃・不燃のごみ集め（大よそ4か月に一度）。
- ・河川美化の日の自治会による川の草刈り。
- ・会社の環境イベントで「ヨシ刈り」、ちいさな親切運動の「琵琶湖ごみひろい」
- ・環境学習センター主催のイベント。
- ・勤務する団体にて県内琵琶湖一斉清掃を毎年主催している。また、清掃活動を通じて環境保全への啓蒙活動を行っている。
- ・自治会の琵琶湖を美しくする運動への参加。
- ・西の湖でヨシ刈りボランティアに参加。
- ・川の堤防のごみ拾い。琵琶湖周辺のヨシ刈り清掃。川の堤防の草刈り。不法投棄物の撤去。
- ・川原の清掃、ゴミ拾い。住んでいる地域と、勤務先の地域。
- ・団体活動ではなく、個人的に河川、道のゴミ拾いをしている。
- ・地球温暖化防止推進員として活動。
- ・道路のごみ拾い、道路の草刈り、町内会清掃活動
- ・外来魚駆除活動

問4 琵琶湖の水質・水量は良好だと思いますか。(回答チェックは1つだけ n=359)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 非常にそう思う	3	0.8%
2. そう思う	88	24.5%
3. どちらでもない	129	35.9%
4. そう思わない	114	31.8%
5. 全くそう思わない	25	7.0%
合計	359	100.0%



「問4」の理由を御記入ください。(抜粋)

【そう思う】

- ・一昔前よりも水質は良くなっていると感じる。水量は夏過ぎに落とし過ぎだと思う
- ・下水道の整備できれいになったから。
- ・赤潮の発生が少なくなった。匂いがあまりしなくなった。
- ・美味しく飲めている

【どちらでもない】

- ・泳げる程度に良好だけどそのまま飲むには抵抗がある。
- ・場所、地域によると思います。特に水質は場所によって全然違うと思います。
- ・なんとなく、これまでに耳にした話からあまり良い状態ではないという印象をもっています。
- ・南湖(琵琶湖大橋より南)は水質が良くないが、北湖は水質が良いと思う。
- ・北の水質は良いけど、南は汚れていると感じるため。
- ・北の方はとても綺麗で良いけど、南の方は問題あると思う。
- ・琵琶湖についてあまり知らないから。
- ・よくわからない。

【そう思わない】

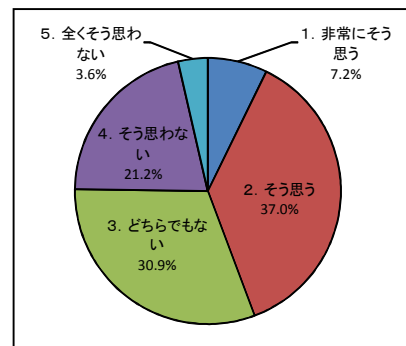
- ・外来種の水草が生い茂り湖面も濁っており環境的にも問題だと感じています。
- ・湖岸にゴミが多い。
- ・湖岸を歩いていると汚いと思うことが多々ある。
- ・子供の頃に泳いだ場所で今はとても泳げない 夏場の悪臭もひどい。
- ・水量はわかりませんが、水質は良くない所もあると思います。
- ・藻が発生したり、ごみが多い。
- ・透明度が低い、濁っている。

【全くそう思わない】

- ・ゴミが浮いているから。

問5 琵琶湖の生態系は豊かであると思いますか。(回答チェックは1つだけ n=359)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 非常にそう思う	26	7.2%
2. そう思う	133	37.0%
3. どちらでもない	111	30.9%
4. そう思わない	76	21.2%
5. 全くそう思わない	13	3.6%
合計	359	100.0%



「問5」の理由を御記入ください。(抜粋)

【非常にそう思う】

- ・琵琶湖固有の生物が多いから。
- ・魚や水鳥、貝など様々な生き物が生息しているから。

【そう思う】

- ・琵琶湖博物館に行って、琵琶湖特有の魚類や水辺の生物の種類も大変多い事を知った。
- ・外来生物を含めて琵琶湖に生息している生物が絶滅したとは聞いたことがない。
- ・湖岸を歩いているだけでも、さまざまな生き物に会えるので。
- ・水鳥がたくさん飛来する。
- ・琵琶湖の日の給食でよく紹介されたりしていて、琵琶湖にしかない魚などもいると知っているため。
- ・とかく魚の外来種が話題になることもありますが、小動物、昆虫、鳥類なども含めると、豊かであると思います。

【どちらでもない】

- ・外来種の影響で変わってきているように思います。
- ・あまり把握できていない。
- ・南湖と北湖で違うと思うから。
- ・豊かさの尺度が分からない。

【そう思わない】

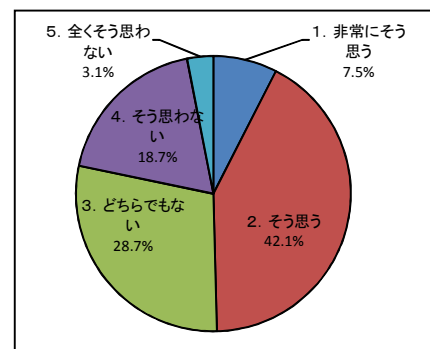
- ・外来魚、外来動物が多く、駆除行為も少ない。
- ・魚介類の減少がとても気になります。とくにシジミ。
- ・ヨシの減少、外来魚等の影響により琵琶湖の生態系は悪化しているから。
- ・シジミや在来種、固有種が減少しており、帰帆島のハスの絶滅も何か狂っていると心配です。

(全くそう思わない)

- ・外来種による生態系の破壊が進んでいると思います。
- ・琵琶湖総合開発で、一番大事な波打ち際をコンクリートで固めてしまって、生態系を殺してしまっているから。
- ・浄化されすぎていて、魚類の餌となるプランクトンが生育しづらい環境にあると思う。外来魚の駆逐と合わせて、在来種が暮らしやすい環境を整えてほしい。

問6 琵琶湖や湖岸の景観は良好であると思いますか。(回答チェックは1つだけ
n=359)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 非常にそう思う	27	7.5%
2. そう思う	151	42.1%
3. どちらでもない	103	28.7%
4. そう思わない	67	18.7%
5. 全くそう思わない	11	3.1%
合計	359	100.0%



「問6」の理由を御記入ください。(抜粋)

【非常にそう思う】

- ・どこから見ても山が見え、自然に囲まれていることを実感できるから。
- ・湖岸道路、近江大橋、びわ湖大橋等、通るときにいい景色だと思うから。
- ・大きな自然を感じることができるところはなかなか無いと思います。湖なので、景色を遮るものもないし、素晴らしい環境です。

【そう思う】

- ・近年、非常に整備が進んでおり、景観が美しいと感じる。また、海外からの観光客が写真を撮る光景も頻繁に目にするから。
- ・散歩しようか、と思うくらいには綺麗だと思います。(昔はもっと綺麗だったとかあるのかわかりませんが)
- ・四季折々それぞれの顔を見せてくれる。

【どちらでもない】

- ・一時期に比べると、良くなったように感じるが小さなころの方が自然一杯で綺麗だった。
- ・遠目の景色は綺麗ですが、近付くと水面にゴミが浮かんでいるので。
- ・外来植物が生え、ごみが、氾濫している場所もあるから。

- ・概ね良いと思うけれど、夏場に多量の水草が浜大津から由美浜辺りまでか吹き寄せられて溜まって腐敗し異臭を放つ年があります。
- ・整備されているのが必ずしも景観がよいわけではないと思います。美しいと思う場所もあれば、そう思わない場所もあります。
- ・北部の水泳場などはきれいだが、南部は汚れている。

【そう思わない】

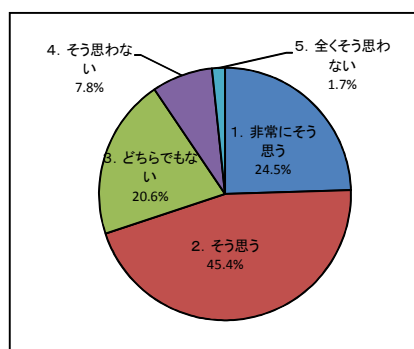
- ・一見、きれいですが、プラゴミなどがたくさん捨てられており、危機感を感じています。
- ・湖岸の雑草や雑樹木がいつの間にか大きくなり、湖岸整備も全く実施されていない。
- ・湖周道路が出来て道路沿線の緑が減少し、自然景観が大きく後退した。また、一斉清掃を行えど相変わらずゴミが気になる湖岸がある。
- ・写真を趣味にしている、美しい琵琶湖を撮ろうとしても、琵琶湖湖岸はあちこちでペットボトル等が捨てられていて、良好とはいえない。
- ・都市部は湖岸景観とマッチしたデザインが必要、都市部以外はずの穏やかな自然景観が必要であるがあちらこちらに不似合いに目をむく建築物構造物、湖周は自動車が湖上は遊びの動力船が爆音をばらまいている。

【全くそう思わない】

- ・湖岸にマンションが乱立して景観が損なわれている。

問7 日常的な生活、文化、学習の場として、人々と琵琶湖との関わりは深いと思いますか。(回答チェックは1つだけ n=359)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 非常にそう思う	88	24.5%
2. そう思う	163	45.4%
3. どちらでもない	74	20.6%
4. そう思わない	28	7.8%
5. 全くそう思わない	6	1.7%
合計	359	100.0%



「問7」の理由を御記入ください。(抜粋)

【非常にそう思う】

- ・びわ湖のほとり生まれ、琵琶湖の恵みで育てられた。また景観も素晴らしいものがある。
- ・琵琶湖フローティングスクールなど幼少期から琵琶湖について学び関わる機会が多いから。

【そう思う】

- ・学校での学習、うみのこ、清掃活動、いろいろな団体が主催する活動など琵琶湖に関わる機会が多いから。
- ・観光やレジャー、スポーツなどの場として、環境学習の場として活用されている。
- ・うみのこなど、県民が親しめる独自の取組があるから。ただ、成人すると、滋賀県民でも、竹生島や、沖島に行ったことがない人も多く、一回は、皆が訪れる機会を行政で積極的に設けたら良いと思う。
- ・びわこで水浴やボートレジャーを楽しむ人や、散歩、ジョギング、ビワイチサイクリングなどが流行しており、びわ湖を満喫する人が増加した。義務教育でも理科や環境学習の取組が熱心で、教員のレベルが上がっている。行政と市民の連携も活発で下流の川の大切さを認識する市民が増加したと思う。外部のびわ湖愛好者の影響も大きい。
- ・小学生の子どもたちに「うみのこ」の体験をさせて頂いていますが、長い人生の中で、他府県では得られない貴重な体験です。琵琶湖と滋賀県人との関わりを学ばせていただいていることは将来にわたり、得難い財産になっています。
- ・水資源の多くを得ているし、伝説や地域行事にも琵琶湖との文化的な関わりを感じる。
- ・琵琶湖があるからこそ経験できる「うみの子」はじめ、子どもたちが自然の大切さを理解したり、琵琶湖を通じて学ぶことも大変多く、多くの子どもたちにとって、琵琶湖とともに生活できることが大変貴重な経験となっていると思う。

【どちらでもない】

- ・取組や学習する機会は増えていると感じますが、もっと増えればよいと思う。
- ・深いはずで、疎遠ではなかろうとは思いますが、実態は人によって大きく異なり、個人差が激しいのではないか。
- ・人や年齢により差が大きいと思う。
- ・生活や文化、学習の場となると関わりはそれ程深くないと感じます。琵琶湖沿岸部に住む方や小学生などの学習機会がある方は別と思いますが、普段の日常生活ではそんなに関わりを意識していないのでは。
- ・琵琶湖の比較的近くに在住する県民にとっては、関わる機会も多いかと思いますが、琵琶湖から離れた地域に住む県民にとっては、関わりは、深くないと思うので。

【そう思わない】

- ・私自身、日常生活のなかで琵琶湖に関わる機会が少ないから。琵琶湖に関わる機会は、学習や研究の際が多い。
- ・琵琶湖から離れたところに住んでいると、あまり関わりを感じない。

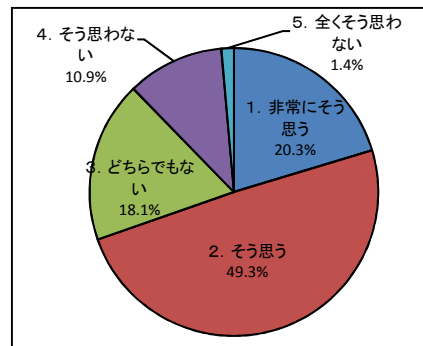
【全くそう思わない】

- ・琵琶湖に行かないから。

- ・琵琶湖のことを気にして生活している人が、あまりに少なすぎる。
- ・琵琶湖を毎日見るわけでもなく、湖の魚を食べるのは南郷水産センターのみ、日常的に湖の恩恵を受けている水道水だけど初夏には臭い気になる、小学生の子どもがいると一緒に学習する機会もあるがそれ以降はない。

問8 琵琶湖は、漁業や観光など産業資源として役立っていると思いますか。(回答チェックは1つだけ n=359)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 非常にそう思う	73	20.3%
2. そう思う	177	49.3%
3. どちらでもない	65	18.1%
4. そう思わない	39	10.9%
5. 全くそう思わない	5	1.4%
合計	359	100.0%



「問8」の理由を御記入ください。(抜粋)

【非常にそう思う】

- ・他府県のひとにとって滋賀県と言えば「琵琶湖」だから。
- ・琵琶湖固有の魚があり、琵琶湖八珍という料理に反映されているし、滋賀県の観光に琵琶湖は切り離せない。
- ・以前と比較しビワイチなど湖岸沿いを自転車で走る人が格段と増えたことを実感するから。
- ・ミシガンやピアンカ、鳥人間コンテストや西国巡りなど観光客誘致に大切な一つ。
- ・漁業としては分からないが、観光資源としては非常に役立っている。滋賀県のアピールポイントは琵琶湖しかないようなイメージである。

【そう思う】

- ・四季を通じて観光に訪れる人々は多いと実感している。
- ・琵琶湖あつての滋賀県。漁業観光全てが琵琶湖に結びついていると感じる。
- ・名産の鮎寿司、あゆ巻き、海老など名産はありますし、マリンスポーツにおいても格好の場であるから。
- ・湖魚は琵琶湖ならではの、湖岸道路でツーリング、ビワイチ、琵琶湖周辺に観光施設も多くあり、産業資源として役立っている。
- ・釣りやアウトドアのスポットとして申し分ない。

【どちらでもない】

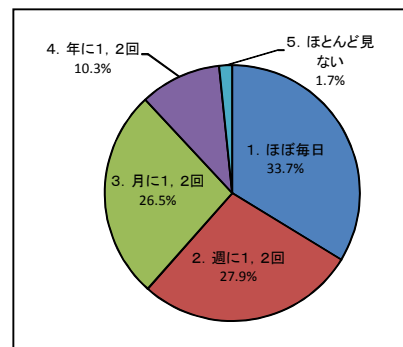
- ・ 漁業は後継者が減り、観光の面は県外へのアピールが弱いように思う。
- ・ 外来種の存在で漁獲高が減少、観光資源として少ない。
- ・ 昔ほど漁場は豊かでなく、淡水魚の消費も少ないように思う。観光にまだまだ活かしきれていない。
- ・ 観光には役立っているような気がするが、漁業は今一つ実感が無い。
- ・ 漁業には役立っていると思うが、観光資源としては潜在力が発揮できていない。

【そう思わない】

- ・ 観光資源として活かしきれてないと感じる。
- ・ あまり県外に知られていないと思うから。
- ・ 琵琶湖の周囲には戦国時代の水城の遺構が多くあるものの認知度は低い。

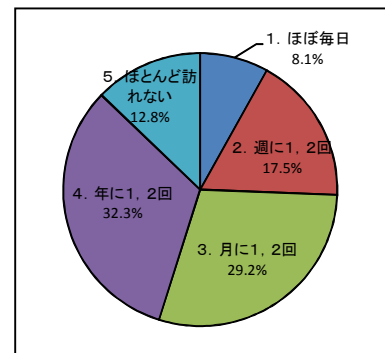
問9 どのくらいの頻度で琵琶湖を見ますか。(回答チェックは1つだけ n=359)

項目	人数(人)	割合(%)
1. ほぼ毎日	121	33.7%
2. 週に1, 2回	100	27.9%
3. 月に1, 2回	95	26.5%
4. 年に1, 2回	37	10.3%
5. ほとんど見ない	6	1.7%
合計	359	100.0%



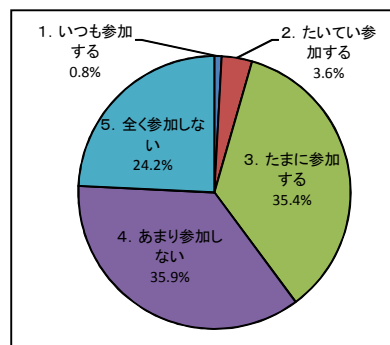
問10 どのくらいの頻度で琵琶湖を訪れますか(湖岸公園・湖水浴などの利用を含む)。(回答チェックは1つだけ n=359)

項目	人数(人)	割合(%)
1. ほぼ毎日	29	8.1%
2. 週に1, 2回	63	17.5%
3. 月に1, 2回	105	29.2%
4. 年に1, 2回	116	32.3%
5. ほとんど訪れない	46	12.8%
合計	359	100.0%



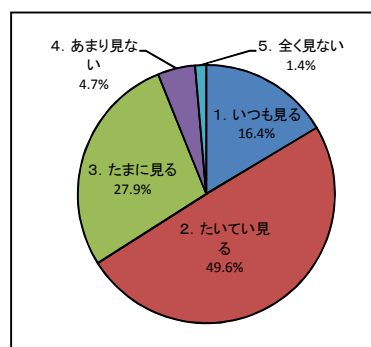
問 1 1 琵琶湖に関する催し物（イベントや講演、シンポジウムなど）があった場合、どのくらいの頻度で参加していますか。（回答チェックは1つだけ n=359）

項 目	人数（人）	割合（%）
1. いつも参加する	3	0.8%
2. たいてい参加する	13	3.6%
3. たまに参加する	127	35.4%
4. あまり参加しない	129	35.9%
5. 全く参加しない	87	24.2%
合計	359	100.0%



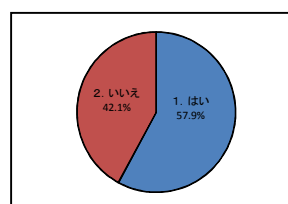
問 1 2 新聞やテレビなどで琵琶湖に関するニュースがあった時、あなたはどのようにしますか。（回答チェックは1つだけ n=359）

項 目	人数（人）	割合（%）
1. いつも見る	59	16.4%
2. たいてい見る	178	49.6%
3. たまに見る	100	27.9%
4. あまり見ない	17	4.7%
5. 全く見ない	5	1.4%
合計	359	100.0%



問 1 3 あなたは、家庭排水をできるだけ汚さないように、何か気をつけていますか。（回答チェックは1つだけ n=359）

項 目	人数（人）	割合（%）
1. はい	208	57.9%
2. いいえ	151	42.1%
合計	359	100.0%



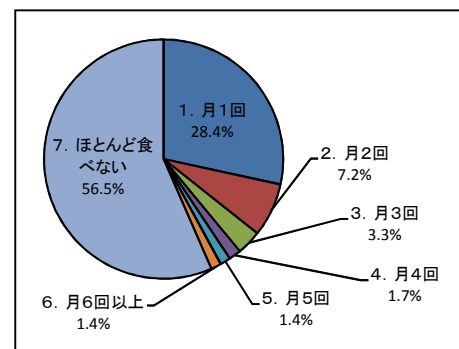
「問 1 3」で「1. はい」を選んだ方にお尋ねします。気をつけていることを御記入ください。（抜粋）

- ・ 家庭で使用した油を廃油として下水道に流さない。
- ・ お米のとぎ汁は畑や庭にまく。
- ・ ゴミをなるべく流さないようにしている。

- ・できる限り塩素系ではなく、酸素系の漂白剤を使用している。水回りの掃除には、できる限り洗剤を使わずに、水とスポンジでしている。
- ・汚れた食器は先に拭いてから洗う。
- ・家庭排水は直接川には流さず、壺池に流しその中にいる鯉に残飯や洗いものを食べてもらいます。
- ・洗濯に生分解する洗剤を使用している。
- ・環境に配慮した製品を使う。
- ・下水に流す。
- ・合成洗剤を使わない。化学物質を使わない。農薬・除草剤を使わない。下水道ではなく合併浄化槽である。
- ・台所のゴミ受けネットの使用や汚水枡の清掃。
- ・風呂の水の再利用。
- ・米のとぎ汁は鉢植えにやっている。
- ・油は必ず拭き取り、油分が流失しないようにしている。
- ・揚げ物油は固めて捨てる。
- ・流しにネット取り付け。

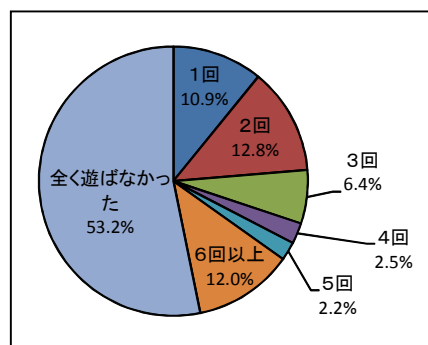
問14 あなたは、どの程度の頻度で、琵琶湖で捕れた魚や貝を使って料理を作り、食べますか。(回答チェックは1つだけ n=359)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 月1回	102	28.4%
2. 月2回	26	7.2%
3. 月3回	12	3.3%
4. 月4回	6	1.7%
5. 月5回	5	1.4%
6. 月6回以上	5	1.4%
7. ほとんど食べない	203	56.5%
合計	359	100.0%



問15 あなたは、過去1年間に何回、琵琶湖や川で遊んだことがありますか。(回答チェックは1つだけ n=359)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 1回	39	10.9%
2. 2回	46	12.8%
3. 3回	23	6.4%
4. 4回	9	2.5%
5. 5回	8	2.2%
6. 6回以上	43	12.0%
7. 全く遊ばなかった	191	53.2%
合計	359	100.0%

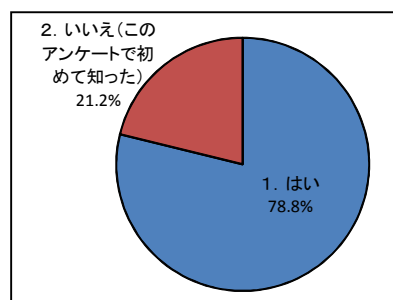


「問15」で「1」～「6」を選んだ方にお尋ねします。どのようにして遊んだことがありますか。(抜粋)

- ・バーベキュー
- ・ウォーキング
- ・キャンプ
- ・バス釣り・カヤック
- ・ビワイチ
- ・びわ湖に面した公園で孫と遊ぶ。
- ・鮎釣り
- ・花火、河川敷でのスポーツ
- ・気分転換に訪れている。
- ・休憩、サイクリング
- ・湖の鳥を観察に行った
- ・湖岸で息子とキャッチボールや水泳をした。大半がキャッチボールである。
- ・湖水浴と川遊び
- ・時々琵琶湖を眺めにいきたくなる。
- ・写真撮影
- ・ヨガ 釣り バードウォッチング

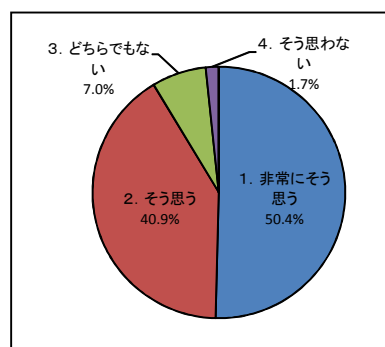
問16 あなたは、自分の住む地域の洪水ハザードマップを知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=359)

項目	人数(人)	割合(%)
1. はい	283	78.8%
2. いいえ(このアンケートで初めて知った)	76	21.2%
合計	359	100.0%



問17 あなたは、琵琶湖や河川を大切に思っていますか。(回答チェックは1つだけ n=359)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 非常にそう思う	181	50.4%
2. そう思う	147	40.9%
3. どちらでもない	25	7.0%
4. そう思わない	6	1.7%
5. 全くそう思わない	0	0%
合計	359	100.0%



「問17」の理由を御記入ください。(抜粋)

【非常にそう思う】

- ・まさに MotherLake であり、歴史の中心であり、誇りに思います。
- ・関西地域の水瓶として又、琵琶湖周辺部の治水対策に大いに貢献している。
- ・近畿の水がめ、なくてはならないもの。
- ・恵まれた環境を大事にするのは住民の義務だと思う。
- ・滋賀県には、誇れるものが琵琶湖しかないから…。
- ・大切な自然だから。
- ・日本が誇る湖なので、責任の一端を握っていると自負しています。
- ・琵琶湖が好きだから。
- ・琵琶湖のおかげで、水不足とは無縁で安心して暮らせる。
- ・琵琶湖の固有種はしがの誇りだと考えるから。
- ・美しい琵琶湖の景観や、生物多様性、水産資源を大切に思います。
- ・理由を考えたことはない。

【そう思う】

- ・かけがえのないものだから。
- ・その恩恵を受けているからです。
- ・近くの川に子供とよくはいますが、よくよくみると小さい魚が沢山泳いでいたり、見たこともない鳥が涼んでいたり生き物の憩いの場、生活の場だからこのまま続いてほしい。
- ・次代の方たちへ贈るものだから。
- ・美しい自然景観の一つとして後世に残す必要がある。
- ・無くてはならない「マザーレイク」です。

【どちらでもない】

- ・琵琶湖まで距離があるので、親近感がない。

【そう思わない】

- ・身近に感じない。

問18 その他、琵琶湖の保全について御意見がありましたらお聞かせください。(抜粋)

- ・夏場の藻だけは素早く除去して欲しい。
- ・いろいろ課題はあると思いますが、でも少しずつ美しくなっていると思う一方で、岸の景観は大切にしてほしいです。
- ・かつて滋賀県が全国に先駆けて取り組んだ「富栄養化防止条例」のような、大胆な施策を実施してもらいたい。環境保全は各自の意識に頼るだけでは効果が低い。ある程度の強権が必要だと思う。
- ・とにかく、県民の琵琶湖への意識をもっと変えていかないとダメだと思います。距離的には近いのに気持ちが遠い。保全を入口に啓蒙していくのではなく、遊びやスポーツを使って県民をびわ湖に誘い出し、琵琶湖を好きになってもらって、自然と保全を考えてもらうようにするのがいいと思います。
- ・一人一人の意識向上が必要、たとえば琵琶湖博物館へよく行くが琵琶湖のことが非常によく理解できる。こういう施設をもっとアピールし、訪問する人を増やす工夫が必要と思う。
- ・汚いと言われてしまう琵琶湖がいつか綺麗で誰もが美しいと言う湖になって欲しい
- ・汚さないように山林の緑化河川の浚渫や保全に県は努力を惜しまないこと。
- ・環境教育は、他人事ではないことを学校教育から継続的な活動を切に望みます。
- ・現状維持より悪化しないように、全県民一丸になって守るべきです。県民へ更なるPRをお願いします。

- ・バードウォッチングが趣味で、日々 散歩ついでに琵琶湖畔で野鳥を中心に生き物観察を楽しんでいます。先日、バードウォッチング会に参加した時に、鳥類学の先生から「ここ数年で琵琶湖に飛来する水鳥が減っている」とのお話を伺いました。確かに以前の冬の琵琶湖は、湖畔を埋め尽くすような多くの渡り鳥がいたように思いますが、今年は特に少なく感じました。水草の除去し過ぎが理由だとか、温暖化や水質が原因だとか言われていますが、大きなことには直接関わることはむずかしいですが、湖岸のゴミ拾いや家庭からの排水に気をつけるなど、自宅が琵琶湖と繋がっていることを意識して、個人でもできることを手がけて行きたいと思います。県にのぞむことは、ヌートリアなどの外来種の捕獲と、野鳥にパンなどのエサをあげる人への注意看板の設置です。野鳥にパンくずやお菓子をあげることは、野鳥にとって良くないことを広めて欲しいです。
- ・マザーレイク21計画の動画を見ました。山、川、琵琶湖、県民ひとりひとりの心掛けが大事だと思いますが、では、普段の生活で何を、どう取り組む、何が環境に優しいのか、、、知らない人が多いと思います。一つ思うことがあります、食器洗剤や洗濯洗剤などで、「これは琵琶湖に、環境に優しいです！！」という滋賀県オリジナル商品の開発などをし販売してはどうでしょうか。そして、県民に希望者には支給する。そのような商品を使用、購入すれば少しの特典やサービスが受けられたりすれば、楽しみながら琵琶湖に滋賀に環境に貢献できる。その「少しでも貢献している」という気持ちがみんなに広まれば悪循環から少しでも抜け出せるのではないのでしょうか。悪くなったものを良くするのは相当の時間もエネルギーもいりません、将来の為に今から本気で何かをしないとイケないと思います。
- ・過去に先人たちが取り組まれた洗剤規制などの琵琶湖保全活動のお陰で今がある。中国において滋賀県の取組を高く評価し、参考にしようとしている。我々滋賀県人も、今一度、過去の取組を学び、振り返って保全活動が長く引き継がれるようにする必要があると思う。
- ・県外の方が我が家を訪問した折には滋賀県の自然を楽しんでもらうために、びわ湖を中心に案内することが多い。また、案内すると精神的にのんびりとできることと自然の良さに感謝されます。それだけにもっと PR 活動をしてもらいたいものです。
- ・県民あげての一斉清掃など効果的で、常々そのような取組を実施できないかと思っています。直接携わることで、琵琶湖や環境保全問題に触れることができると思います。
- ・琵琶湖は滋賀県の有する代表的かつ象徴的なものです。保全は滋賀県民の必須事項だと思います。学校教育の場から社会人、老若男女関わらず琵琶湖保全について考える機会の場が必要かと思っています。

・私個人としては、生活排水を出来るだけ汚さないようにする、朝の歯磨きでは水の使用量を出来るだけ少なくする、お風呂に入る時も出来るだけ無駄なお湯、水を使わないようにするなど間接的な事しか出来ません。今年は雪が少なく河川の雪解け水が少なく琵琶湖湖底の水循環が出来ていないなどのニュースを聞くと琵琶湖の生態系にも影響が出るのではと心配します。

民法放送では、びわ湖放送になりますが、この番組を通して琵琶湖の実態を定期的に放送するなど県としても積極的に発信することが必要ではと思います。放送料がどの程度必要かは知りませんが。

・小学生の娘が、うみのこにのります。琵琶湖に滋賀の子が興味を持てる内容です。
・全国各地を転勤で巡ってきましたが、滋賀県の知名度は低かったです。しかし、琵琶湖はみんな知っていて、やはり日本一の湖であると再確認できました。

40年ぶりに戻り、やはり窓から見える琵琶湖の景色は素晴らしいです。滋賀県民として自信を持って素晴らしさを紹介するためにも保全是大切だと思います。

・琵琶湖でせっけん運動が盛り上がった時と同じような関心を市民が持つべきだと思う。

・琵琶湖でのマイクロプラスチックごみの削減をすべきであると思う。

・琵琶湖は滋賀県だけでなく近隣府県にとっても大切にしないといけない自然だと思う。琵琶湖の保全に関しては近隣府県も含めて推進していく方が効果的だと思う。

・保全の定義をきちんと決めていただきたいと思います。どんな観点でコメントしているのかわかりません。マザーレイク計画が”保全”のことなんですかね。滋賀県民の一人として、正直琵琶湖を身近に感じることはありません。琵琶湖大橋、近江大橋、湖岸道路を通るときくらいでしょうか。保全のコメントの前提として、もっと琵琶湖に興味をもつことが必要かと思いましたが、興味対象になるための材料が見当たりません。